



血液型は、どうやって調べるの

血清と血液を混ぜて調べる

血液型は、血液と血液を混ぜて調べます。調べ方は、まずA型とB型の血液からとった血清（血液にふくまれている成分）という液を用意します。次に、調べたい人の血液を、A型とB型の血清にそれぞれ少しずつ入れていきます。

そして、Aのほうだけ固まればB型であり、Bのほうだけ固まればA型、両方固まれば、AB型、両方とも固まらなければO型と、判定していくのです。

A、B、O、ABの血液型は、このようにして判定されているのです。

血液型は、血液に、最初からそなわっているもの

A、B、O、ABの血液型は、血液に、最初からそなわっている性質です。

そしてそれに、A型、B型などという名前を、人がつけたのです。

この名前は、ラントシュタイナーという学者が、血液型を発見したときに、たまたまつけた名前で、それが、そのまま、今でも使われているのです。

ですから、輸血をするときなどに、血液型を調べることを、血液型の判定をするというのです。（監修・保志 宏）

血液型を調べるには、とった血を、A Bそれぞれの血清と混ぜて、固まり方を見ます。

A型血清とB型血清に、血を入れてみて、

- Aだけ固まる B型
- Bだけ固まる A型
- 両方固まる AB型
- 両方固まらない O型

